

## パブリックコメントの概要について

- 1 実施日 令和3年9月21日（火）から10月15日（金）まで
- 2 ご意見の提出状況 意見者数 5人  
意見数 15件

No.	項目	意見	市の考え方	担当部局
1	I-1-(1) 計画案 41P	不登校の児童生徒数の減少を目指すことを目標に挙げられているが、それだけではなく、何らかの事情で学校に通えない児童生徒の受け皿となるような場所やスタッフの拡充が必要ではないか。	教室に入りづらいと感じている子どもたちに対し、学校においては相談室登校や保健室登校などの柔軟な対応を行っております。また、学校に行きづらいと感じている子どもたちに対し、市教育委員会においては豊田、婦中の2箇所の適応指導教室で受け入れを行っているほか、「富山市子どもの村」での自然体験を通じた自立支援を実施し、登校復帰に向けた支援を行っております。  これに加え、不登校児童生徒への支援につきましては、県教育委員会等の関係機関との連携を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し個別支援の充実を図るなど、より一層きめ細かい対応に努めてまいります。	教育委員会
2	I-3-(1) 計画案 63P	子ども会（地域児童健全育成事業）は、指導員の高齢化や離職のため、指導員が不足している。給料（報酬）が安いことも理由にあるのではないか。適した指導員の拡充のため、給料を増やしたり、指導員確保につながる施策が必要ではないか。	地域児童健全育成事業は、各校区の運営協議会へ委託し実施しており、市の委託料から指導員に支払われる報酬の額については、各運営協議会において決められております。  本市では、指導員を確保するため、広報への募集記事の掲載や、学生を対象とした説明会の開催、退職教員への協力依頼などに取り組んでおります。  今後とも、地域児童健全育成事業及び放課後児童健全育成事業の充実を図り、留守家庭児童の健全育成と、保護者の子育てと仕事の両立を支援してまいりたいと考えております。	こども家庭部

No.	項目	意見	市の考え方	担当部局
3	IV-1-(2) 計画案 169 P	性的少数者 (LGBTQ) について、計画内には触れられていないと思うが、性の多様性を啓発し、多様性や人権教育を推進する施策、居場所や交流スペースを設置する施策を希望する。	性的少数者 (LGBTQ) については、一人ひとりの個性と創造性を尊重する地域社会づくりとしてこれまでも、民間団体との協働により、庁舎及び学校などでのポスター掲示やパネル展示、職員に向けた研修会などを通じて、市民への啓発及び職員への学びの場を提供してきました。今後も本市が主催するイベントや職員研修などを通じての理解・啓発に重点的に取り組むこととしております。なお、交流スペースの設置などについては、他の要望と同様に、市民のご理解や予算措置などを考慮しつつ、判断してまいります。	市民生活部
4	I-2-(2) 計画案 56 P	ひきこもりの状態にある方が社会と関わりをもち、参加してもらうことで、より生き生きとした社会になり、働き手の増加にもつながると考えるが、ひきこもりの状態にある方のニーズに応える施策、例えば、交流の場や居場所づくり、専門相談員の増員、やりたいことを気軽にチャレンジできる就労の仕組み作りなどの施策の実施をお願いしたい。	<p>ひきこもりの状態にある方の社会参加への支援につなげるため、教育、児童、保健、福祉などの分野の支援者による若年層の対策を推進する「ひきこもり予防ネットワーク会議」と、中高年の対策を推進する「ひきこもり丸ごと情報交換会」を開催し、関係機関とのネットワークづくりを進め、それぞれ支援者が相互の役割を理解、共有し、本人や家族に寄り添いながら支援していただいております。</p> <p>また、居場所づくりとして、居場所の提供を目的に活動している NPO 法人などに対し、その費用の一部を助成するわがまちサロン事業を実施しております。</p> <p>さらに、県では、市町村職員や家族会など、ひきこもり支援団体などを対象とした研修や、民生委員や家族会などのひきこもり支援に関心のある方を対象としたサポーター養成研修を実施しております。</p> <p>ひきこもり状態にある本人や家族が、人や地域とのつながりを求めたときに、その機会を逃さず、適切な支援につながるよう、関係機関等との相互連携や居場所づくりに努めてまいりたいと考えております。</p>	福祉保健部

No.	項目	意見	市の考え方	担当部局
5	IV-1-(2) 計画案 169P	すべての人が輝き、安心して暮らせて、一人ひとりが尊重される富山市になるよう、日頃から光が当たりにくい人たちのことも考え、計画内に盛り込んでほしいと思う。	ご趣旨については、IV-1-(2)「一人ひとりが尊重される地域社会づくり」において、基本計画の柱である「施策の方向」や「市民に期待する役割」として述べております。	企画管理部
6	II-2 計画案 95P	<p>まちなか開発ばかりではなく郊外にも力を入れてほしい。</p> <p>富山市には昔から都市計画道路の計画が数多くあるが、市の財政が厳しい状況であれば、まちなかの開発計画を縮小、廃止し、都市道路や未来ある子供達や他の事に使った方が良いのではないかと。</p> <p>都市計画をやめる条例を作れば、都市計画の対象で放置されている土地での住宅やマンション建設などにつながり、固定資産税の税収が増えると思う。</p>	<p>本市のコンパクトシティ政策は、まちなか居住人口や公共交通沿線居住人口の増加、人口の社会増、さらには、地価の上昇といった成果が表れており、特に、市税収入の約半分を占める固定資産税額と都市計画税額について、平成24年度と令和3年度を比較すると、中心市街地エリアでは約5.4%、市域全体では約11.1%増加しておりますが、市域の約0.4%である中心市街地が生み出す固定資産税と都市計画税は、市全体の税収の約4分の1を占めていることから、中心市街地エリアへの投資が市域全体に波及しているものと認識しています。</p> <p>今後も、コンパクトシティ政策を深化させ、継続していくことで、それらの成果を全市域にいきわたらせていくことができるものと考えております。</p> <p>なお都市計画道路については長期未着手の路線を対象に、富山県が策定した「都市計画道路見直しの基本的方針」に基づき、計画の必要性・実現性・妥当性などを検証し、住民と合意形成を図りながら見直しを進めているところであります。</p>	活力都市創造部
7	IV-1-(2) 計画案 169P	<p>「すべての人が（輝き安心して暮らせるまち）」、「SDGs と関連付けて」というフレーズを謳っているが、いまだに「男女共同参画」という言葉を多用するのは従来の古い価値観を引きずっている印象を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の役割を決めつけない考え方（ジェンダー）</li> <li>・性のあり方の多様性（LGBTQ）</li> </ul>	<p>市では、「富山市男女共同参画推進条例」で掲げた豊かで活力に満ちた男女共同参画社会の実現を目指して、個別計画である「富山市男女共同参画プラン」に基づき、様々な施策に取り組んでおります。</p> <p>「ジェンダー」とは社会的・文化的に形成された性別であります。このつくられた男女の役割分担を変えていくことが「ジェンダー平等」につながり、その平等を当</p>	市民生活部

No.	項目	意見	市の考え方	担当部局
		<p>の2点にも気を配るべきだと思う。</p> <p>SDGsが国際基準であるように、ジェンダー平等やLGBTQ（性的マイノリティ）への理解も国際常識である。</p> <p>総合計画には「障害者」と「高齢者」、「外国人」については記述があるが、性的マイノリティとジェンダーについて、啓発・サポートする視点が無い。計画にこの考えを盛り込むことで「すべての人」を限りなくカバーできるのではないか。県内で先進的に富山市が取り組んでほしい。</p> <p><b>【上記視点を盛り込んでほしい施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-3-(2) 高齢者・障害者への支援</li> <li>・ I-3-(3) 保健・医療・福祉の連携、充実</li> <li>・ III-3-(1) 多様な雇用機会の創出</li> <li>・ III-3-(2) 勤労者福祉の向上</li> <li>・ IV-1-(2) 一人ひとりが尊重される地域社会づくり</li> </ul>	<p>然る前提として、男女が対等な構成員としてあらゆる活動に参画し、共に責任を担うべき社会である「男女共同参画社会」が形成されるものと考えております。</p> <p>このことから、ジェンダー平等と男女共同参画については、同根のものとして、今日においても共に取り組むべき課題と捉えており、「IV-1-(2)一人ひとりが尊重される地域社会づくり」におけるSDGsの目標の一つに「5 ジェンダー平等を実現しよう」を位置付けるものであります。</p> <p>次に、性のあり方の多様性(LGBTQ)については、一人ひとりの個性と創造性を尊重する地域社会づくりとしてこれまでも、民間団体との協働により、庁舎及び学校などでのポスター掲示やパネル展示、職員に向けた研修会などを通じて、市民への啓発及び職員への学びの場を提供してきました。今後も本市が主催するイベントや職員研修などで重点的に啓発を行い、理解が深まるよう努めてまいります。</p>	
8	<p>II-3-(3) 計画案 112P</p> <p>II-1-(4) 計画案 85P</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市電沿線ばかり重視し、その他の富山地域（特定のエリア）の道路整備がなおざりになっているのではないかと感じる。街灯がない歩道、側溝に蓋がない道路、抜け道になっている狭隘な道路、歩行者・自転車の動線があるのに横断歩道や信号がない交差点、狭い歩道、融雪装置がない歩道等、車から歩行者を守り、安心して歩ける環境整備がないがしろになっていると感じる。</li> <li>・ 地方鉄道本線の線路上を立体化している道路（富山環状線）は、車にとっては良いが、自転車・歩行者は歩道のない狭い道を遠回りしなければならず、軌道を高架化し道路を地上に下ろせば（逆立体化）不便が解消されるのではないかと感じる。</li> </ul>	<p>II-1-(4) 施策の方向⑤及び⑥（88P）等に記載のとおり、交通支障箇所や危険箇所の把握、安心な歩行空間の確保に努めているところであります。</p> <p>引き続き、限られた財源の効率的な配分に配慮しながら、着実な整備に努めてまいります。</p>	建設部

No.	項目	意見	市の考え方	担当部局
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「とほ活」に取り組むのであれば、粗悪な歩道（街路樹、根上がり、段差）を改良することが先決ではないか。</li> <li>富山視覚総合支援学校の位置も良くなり、周辺の道路状況も悪いため、事故が起きても不思議ではないと思う。</li> </ul>		
9	II-4-(1) 計画案 120 P II-4-(3) 計画案 126 P	行政によるスチール缶や瓶の回収が2週間に1回しかなく不便なため、スーパーなど店頭での回収があると良い。家庭ごみの有料化の導入は、市民が納得できる収入の用途とするとともに、市外への不法投棄につながらないよう慎重に行うべき。	店頭での回収については、引き続き、市民・企業・行政が協働による循環型社会の形成に向けた機運の醸成に努めてまいります。 家庭ごみを有料化した場合の収入の用途につきましては、慎重に検討してまいります。	環境部
10	II-2-(5) 計画案 105 P II-1-(4) 計画案 85 P	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を金銭的に無理なく使える仕組みづくりが必要ではないか。例えば、赤字分は行政負担という前提で運賃に上限を設ければ、鉄道やバスの利用者が戻り、利用収入の増により財政負担もなく運行できるのではないか。</li> <li>東新庄・荏原駅について、駅の南側に出入口を作る、もしくは地方鉄道本線の稲荷町駅から寺田駅付近までLRT化し、利便性を改善してはどうか。</li> <li>富山駅東側暫定駐輪場を恒久設置とする、もしくは駅南第一駐輪場の利用を24時間または0時半までに延長すれば、最終新幹線などで富山駅に到着した場合でも自転車が使えて便利になるのではないか。</li> </ul>	公共交通や自転車の利用促進に向けた利便性の向上については、様々な方策があるものと認識しておりますが、引き続き、関係事業者との協議を含め、総合的に検討してまいりたいと考えております。	活力都市創造部 市民生活部
11	II-2-(5) 計画案 105 P	富山大学附属病院が市街地から遠く、公共交通でのアクセスが悪いため、子どもの医療体制も心許なく感じるのではないか。	II-2-(5) 施策の方向④「生活交通の確保」(107 P)において述べているとおり、バス交通の確保、維持のため、生活バス路線や地域自主運行バスへの支援を継続するとともに、公共交通の乗り継ぎなどの利便性の向上に努めてまいります。	活力都市創造部
12	I-1-(1) 計画案 41 P	中学の3年間は最もいじめの起きやすい時期と言われる。高校の空き教室を活用した中高一貫コースを作れば、年齢幅が広い	中学校でのいじめ対策としましては、日ごろの見守りやアンケート調査等による早期発見・即時対応に努めるとともに、比較	教育委員会

No.	項目	意見	市の考え方	担当部局
		環境で子どもを安心して育てることができ、大学進学実績の向上にもつながるのではないかと。	的発見されにくいインターネット上でのいじめにおいては関係機関との連携を図りながら情報モラル教育を推進するなど、未然防止にも努めております。 なお、本市には現在のところ、市立の高等学校はございませんので、ご意見にあります高校の空き教室を活用した中高一貫コースの設置に関しては、特に検討していません。	
13	Ⅱ-3-(3) 計画案 112P	道路や公園のメンテナンスについて、市民が画像と位置情報をスマホアプリで市に送信するシステムを導入してはどうか。	本市では、現在市民の方がスマートフォンで撮影した画像を市に通報する、「道路損傷通報システム」を運用しているところであり、今後、市民の皆さんへの周知に努めてまいります。	建設部
14	Ⅱ-1-(5) 計画案 90P	富山市はガス代が割高なので、プロパンガスから都市ガスへの転換をもっと強力にすすめてはどうか。	民間の事業者が判断されるべき事項であるため、今回のパブリックコメントの対象外とさせていただきます。	企画管理部
15	Ⅱ-3-(3) 計画案 112P	公共交通機関を使って行ける富山駅や西町周辺に、子どもが何度も繰り返し遊びたくなる長い滑り台のある大きな公園があると良い。	公園の新設については、近隣住民の理解を得ることに加え、規模や立地条件、既存施設との距離、ニーズ、整備費、維持管理費などを総合的に勘案する必要があります。ご意見につきましては参考とさせていただきます。	建設部

## (参考)

### 1 タウンミーティングについて

#### (1) 実施日、会場、参加者数

実施日	9月25日(土)	9月25日(土)	10月1日(金)
会場	富山国際会議場	富南会館	職業訓練センター
参加者数	17人	16人	30人
実施日	10月5日(火)	10月7日(木)	10月10日(日)
会場	呉羽会館	八尾コミュニティセンター	大沢野生涯学習センター
参加者数	19人	55人	22人
実施日	10月10日(日)	10月12日(火)	10月13日(水)
会場	細入公民館	岩瀬カナル会館	山田公民館
参加者数	46人	13人	48人
実施日	10月16日(土)	10月16日(土)	
会場	大山地域市民センター	婦中ふれあい館	
参加者数	17人	65人	参加者数 合計 348人

#### (2) 主なご意見

- ・ 学校再編や公共施設マネジメントなど、住民に負担を強いるような事業は早目の情報提供と十分な意見交換を行うとともに、跡地の活用等については、希望を持てるような活用方法の情報提供をお願いしたい。
- ・ コミュニティスクールの導入にあたっては、地域住民が子どもの権利や病気などのことを理解することが必要であり、地域で講座を開催するなどの取組が必要ではないか。  
また、住民に負担がかかるのではないか。
- ・ 講演会等の行事の使い勝手を高めるため、市立公民館でWi-Fiを使えるようにしてほしい。
- ・ 市立公民館は、災害時の避難所となる場合もあり、空調設備の更新に向けて点検していただきたい。
- ・ 学校行事で県外に移動する際に、PCR検査や抗原検査を実施するなどして、子どもたちの活動に制限が生じないような取組をお願いしたい。

- ・ 福祉推進員等の地域における活動に対して、市として支援していただきたい。
- ・ おでかけ定期券の利用時間帯を拡大できないか。
- ・ 最寄りのバス停や駅への移動手段の確保について、何らかの手段を講じていただきたい。
- ・ コミュニティバスについて、地域での行事の際に、年に5、6回だけでもルートを変更することができないか。
- ・ 中山間地の農業を守っていくためにも畑地に対する支援を充実していただきたい。
- ・ 有害鳥獣被害対策として、電気柵の設置補助の基準を緩和するなど、対策を充実していただきたい。
- ・ 他の自治体の有害鳥獣対策の先進例について情報提供していただきたい。

## 2 市議会自由民主党会派から寄せられたご意見

- ・ 前期計画のリーディングプロジェクトで掲げられていたように「人口規模の維持・拡大」の趣旨を、後期基本計画に盛り込むべきではないか。
- ・ 総論の中に「インクルーシブ」の概念を追記してほしい。
- ・ I-1-(1)の目標とする指標に「いじめ」に関する項目を追加してほしい。
- ・ I-1-(1)施策の方向①「学校教育環境の整備・充実」若しくは②「自主性・創造性を備えた子供の育成」に『教職員の働き方改革』を追記してほしい。
- ・ II-3-(3)施策の方向⑥「多様な目的に対応した公園などの整備（ファミリーパークの整備）」に『家族が楽しく触れ合うことのできる場の提供』を追記してほしい。
- ・ II-3-(5)施策の方向①「中山間地の活性化」に、『居住対策、除雪対応、独居老人対策、空き家対策、交通移動手段』など、具体的な施策を追記してほしい。
- ・ II-3-(5)総合計画事業概要に『天湖森の整備』を記載できないか。
- ・ III-3-(2)男性の育児休業の取得促進について追記してはどうか。



- ・ III-4-(1)現状と課題の文面に、『国指定の埋蔵文化財事業の推進』について追記してほしい。
- ・ IV-2-(2)施策の方向に、『市民や事業者の地域づくりへの参画の推進』を追記してほしい。
- ・ 市民に期待する役割など空欄になるものは、項目を削除してもよいのではないか。

### 3 市議会日本共産党会派から寄せられたご意見

- ・ (総論)人口減少については、「生産年齢人口」と「高齢者人口」の比較ではなく、「総人口」と「総労働力人口」の比較で捉えるべきではないか。
- ・ (総論)まちなか以外の地域でも、「災害に強く回復力のある安全なまちづくり」に欠かせない農林水産業、森林整備や流域治水などの担い手が住み続けられるまちづくりを重視すべきではないか。
- ・ (総論)子どもを主体とした「子どもの権利」を保障する観点が必要ではないか。
- ・ (総論)子どもの貧困対策を盛り込まれたい。
- ・ (総論)ジェンダー平等の観点が薄いのではないか。
- ・ (総論)戦争の事実と記憶を語り継ぎ平和をまもるために、富山大空襲の資料や証言の収集と展示、戦争遺跡・遺構の保存・活用を盛り込むべき。
- ・ I-1-(1)目標とする指標「学校給食における地場産野菜等の品目数」は、品目数だけでなく、重量における割合も高めることが必要ではないか。
- ・ I-1-(1)着実な学校再編の推進は、住民とともに学校再編のあり方について検討されたい。
- ・ I-1-(4)「天体観察機能のまちなかでの再構築に努めます」は、「まちなか」を削除されたい。場所については市民、天体愛好家、専門家などとともに検討してから決定すべき。
- ・ I-2-(1)市内の主なスポーツ施設のうちプールは、婦中地域や富山地域の神通川左岸の四方地域などにも年中利用できる温水プールを計画されたい。

- I-3-(2) 施策の方向④「障害者の自立と社会参加の促進」のために、精神障害者医療費助成の対象者を手帳2級まで拡充されたい。
- II-1-(1) 目標とする指標「備蓄物資の整備率」の「目標設定の考え方」に、生理用品も明記されたい。
- II-2-(1) 総合計画事業「花でつなぐフラワーリング事業」は、事業費や手法を見直し検討されたい。
- II-2-(2) 施策の方向②「公共交通沿線居住の推進」は、公共交通にアクセスする利便性向上とセットで行われたい。
- II-4-(1) 施策の方向①「ごみの減量とリサイクルの推進」は、家庭ごみの有料化ありきではなく、ごみ減量の方法を市民とともに検討されたい。
- II-4-(1) プラスチックの減量のためには、一括回収だけでなく、プラスチック製容器包装を他の方法に転換するなど、市民や生産者、販売者への働きかけも行われたい。
- II-4-(2) 施策の方向②「省エネルギー対策の推進」に、公共施設の ZEB 化を加えられたい。
- III-1-(4) 基幹作物である主食用米の需要減少に対して、需要拡大策と米価下落対策の重要性を盛り込まれたい。